

教養ゼミ	担当教員共通
------	--------

1. ゼミのねらい・概要

本科目は、所属ゼミ生と担当教員、あるいはゼミ生相互の交流を深めるとともに、大学での学修の要諦である専門ゼミ、卒業研究への橋渡し、および本学在学中のキャリアアップの動機づけとしての役割を果たすことを目途に設けられた2年次対象の通年科目である。

本科目は下記の指針により実施されるが、各時限の具体的な進め方は各ゼミ担当教員の専門分野に基づいた運営方針に委ねられている。

- ①与えられた、あるいは自ら考えた課題をまとめるために必要な情報を収集・取捨選択し、それを口頭報告を行う際のレジュメ、レポートの作成へとつなげていくための能力を養う。
- ②学生生活において、日常的に求められる国語力を養う。
- ③就職活動を行う際に必要となる基礎的な数的理解力・一般常識に関する能力を養う。

2. ゼミ計画

15コマの各時限の内容の設定は各担当教員に委ねられているが、概ね以下のような流れのもとに実施される。

1. 履修指導(昨年度の反省と対応)	9. 一般常識涵養のための企画③—自然科学分野
2. ゼミ内の融和を図るための企画—グループ学習	10. キャリアアップのための指導②—全体ゼミ
3. キャリアアップのための指導①—全体ゼミ	11. レポート作成能力アップのための企画①—評論文
4. 国語力アップのための企画①—難読語	12. レポート作成能力アップのための企画②—随筆
5. 国語力アップのための企画②—四字熟語	13. レポート作成能力アップのための企画③—新聞記事
6. 国語力アップのための企画②—ことわざ	14. キャリアアップのための指導③—全体ゼミ
7. 一般常識涵養のための企画①—人文科学分野	15. 本年度の振り返りと次年度のプランニング
8. 一般常識涵養のための企画②—社会科学分野	

※1. ～15. の順番については、全体ゼミに外部講師をお願いする場合があること、また、担当教員の専門分野により講義内容に独自性があることから変更となることもある。

なお、ITアドバンスコースのゼミについては、コンピュータ関係の資格試験受験を想定した対策等をこの時間を使って行うことも予定されているため、全体ゼミを除くコマについては一部内容を変更して行う場合がある。その場合の対応についてはゼミ担当教員の指示にしたがうこと。

3. 到達目標

専門ゼミ履修に必要とされる基礎的な能力を修得すること。所属ゼミ担当教員・ゼミ生との良好な人間関係が構築できること。

4. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

テキスト、あるいは科目担当教員からの指示事項について毎回30分以上の予習・復習を行う。

5. 成績評価の方法・基準

授業時間中の課題に対する取り組み、個別発表が行われる場合にはその内容、グループ学習が行われる場合にはその参加状況等を勘案して総合的に行う。担当教員によっては、定期試験期間に試験を実施する場合もある。

6. テキスト・参考文献

テキスト：各担当教員によってゼミの運営方法が異なるので、担当教員に指示に基づいて購入を行うこと。指示を受けた場合には、必ず購入してゼミに臨むこと。

参考文献：ゼミ担当教員から適宜紹介される。

7. 受講上の留意事項

本科目は、前後期30回の同一時限開講コマの半分(残り半分はトップマネジメント講話)の15回分のコマより成り立っている。各時限のうち、いつの時間が本科目となり、いつの時間がトップマネジメント講話になるかは、講話をお願いする講師の都合に負うところが大きいため、掲示板等で当該回の講話かゼミかをよく確認してほしい。

全体ゼミの場合には、授業開始5分前までに指定の教室(全体ゼミ会場)に集合し、各自に指定された座席に着座して授業開始を待つこと。一方、ゼミ別指導の回については、各ゼミに指定された教室に集合し、指導担当教員の指示に従うこと。